

2026年度 第1回 須坂市公民館運営審議会 会議録(要旨)

1 日時 2026年8月4日(火) 午後1時30分～午後3時

2 場所 須坂市生涯学習センター(3階)

3 出席者

(1) 委員11人(欠席5人)

須山委員、塩澤委員、弓削委員、花房委員、吉崎委員、中澤委員、荻原委員、田所委員
阪田委員、北澤委員、荒井委員(欠席)小池委員、永藤委員、横山委員、村松委員、山岸委員

(2) 事務局13人

勝山教育長、小林社会共創部長、中澤生涯学習推進課長兼中央公民館長
滝澤南部地域公民館長、徳永日滝地域公民館長、寺澤豊洲地域公民館長
山岸旭ヶ丘ふれあいプラザ館長、牧井上地域公民館長、上原仁礼コミュニセンタース長
永井豊丘地域公民館長
生涯学習推進課 荒井管理係長、島田学習推進係長、湯本管理係主査

4 配布資料

- (1) 資料1 須坂市公民館運営審議会 委員名簿
- (2) 資料2 2025年度 公民館関係事業実績
- (3) 資料3 2026年度 学習推進係・地域公民館の特色ある主な事業
- (4) 資料4 日野地域公民館 多目的ホールの利用休止について
- (5) 参考 2026年4月1日付 公民館施設関連条例改正の要点

5 教育長あいさつ

6 委嘱状交付

2026年7月1日から2028年6月30日を任期として、委員(16名)へ委嘱状を交付
委員を代表して北澤委員に教育長から手交

7 会議事項 各事項について事務局説明後、質疑

- (1) 2025年度 事業実施状況について
- (2) 2026年度 新規事業予定について
- (3) その他

資料に基づき事務局より説明。これに対し、委員から意見・質問は無かった。

8 その他

- (1) 日野地域公民館施設の廃止・休止について
- (2) 2026年4月1日付 公民館施設関連条例改正の要点

資料に基づき事務局より説明。これに対し、委員から意見・質問は無かった。

(3) 各委員より委員会全体を通した意見等

A委員：前回の審議会で、公民館開催事業の委員周知を依頼したところ、早速連絡をいただきてありがたかった。引き続き、委員も協力していきたい。

B委員：委員になり、初めて公民館で多くの事業をやっていることを知った。7月にリニューアルした仁礼コミュニティセンターは、閉館中利用できないことで、より重要性を感じた。公民館活動は地域に深く根付いており、文化活動を支えていると分かった。
公民館で事業実施の際は学校で共有するなど、積極的に関わっていきたい。

C委員：中学校の部活動地域移行の関係で、学校以外でも生徒が活躍できる場を作っていく必要性を感じており、公民館活動とうまく連携できる方法を考えていきたい。

D委員：高校生を見ていると、地域と学校の結びつきがとても強く積極的に関わっていると感じている。井上地域公民館の宿泊学習を見学したが、生徒は本当によくやっていた。
同年齢だけでなく、異年齢の子達や高齢者と交流できたらと思っている。

E委員：多くの事業を実施していることに敬意を表したい。
文化芸術の事業で協力していることも多いが、今後も積極的に協力していきたい。

F委員：井上地区では過日、子ども達と楽しく水田作りを行った。継続していくことは大切だと感じるし、子ども達から学ぶことも多い。これからも頑張っていてほしい。

G委員：自分自身はこれまで公民館を利用したことがなく、今日の審議会で初めて様々な活動をしていることを知った。これを機に情報などを仕入れ積極的に紹介したいと感じた。
成人式に関わり、市内には着付け可能なサロンが減っており、隣の長野市で着付けを行っている現状がある。
生涯学習センターや公民館を着付けの場所として活用できれば良いと感じた。

H委員：同じく初めて公民館で多くの事業を開催していることを知った。事業では、参加者の想定人数を定め、実際の参加者数で成功か失敗かを判断するのが良いと思う。予約がすぐに埋まるような人気講座は、予算に余裕があれば、複数回の実施を考えた方が良い。
地域に人がいないと子どもが増えない。少子化に歯止めをかけるためにも地域を盛り上げていかなければならないと思う。良いものは伸ばし、人が集まりにくいものは反省し、限られた予算を有効に使う必要がある。
成人式に関しては、町で成人の祝いをしようとしても、着付けに時間がかかり参加できないことがある。近所の公民館で着付けできれば参加しやすくなるのではと思う。

I委員：10月に生涯学習推進市民のつどいが開催される。今年は森上小の児童含む5団体の発表が行われ、花や手まりなどの作品展示、ニラせんべいのおもてなしをする。皆様の参加をお願いしたい。
また、まなび一号の関係では、9月に大笹街道巡り、10月伊能ウォーク、11月井上の里巡りが予定されている。須坂にも沢山の宝物があるので、知ってもらいたい。

J委員：連合長野では「ふれ愛基金」があり、県内で社会貢献している団体やNPO企業に毎年運営資金として若干の補助をしている。須坂市では、民生委員から相談があり、旭ヶ丘ふれあいプラザで開催している子ども食堂実行委員会が活用している。子ども食堂を利用した子どもが、高校生になりその食堂の手伝いをしているという大変良い話を聞いた。他の実行委員会で基金の希望があれば是非活用してほしい。

K委員：人口が減少傾向にあり、高齢者の健康づくりの重要性がより一層高まっている。公民館活動でも、特に高齢者学級について、今後もより一層の発展を願いたい。
また、特殊詐欺に関し、高齢者が孤立し、人との関わりがないことで被害にあうこともあるので、公民館活動で交流の場を作れたら良いと思う。

A委員：災害時の避難所として地域公民館の役割はどのようなになっているか。

事務局：小中学校のほか、生涯学習センターや地域公民館は指定緊急避難場所に指定している。8月23日に市総合防災訓練を開催予定。
改めて市民に周知し、各公民館の防災体制も整えていきたい。

9 諸連絡

事務局：委員報酬は8月下旬までに指定口座に振り込み予定（学校関係者委員は無報酬）

10 閉会